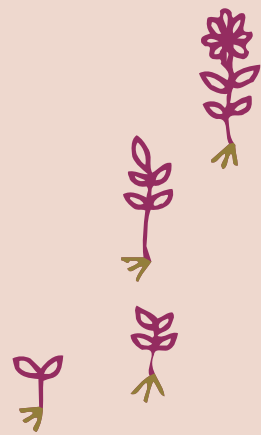
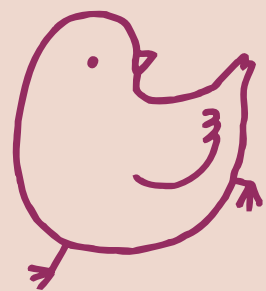


ビオトープ浮島事業は
当社の環境保全活動のシンボルです。

環境のために、
私たちができること。



環境と私たちの関係。
未来と私たちの責任。



ごあいさつ

21世紀の到来を目前にして、私たちは「地球環境問題」という目をそらすことができない大きな課題を抱えています。

すでに環境保全に対する活動は、全世界的に大きな波となって広がりを見せていますが、基本はこの地球に生きる私たち一人ひとりが自らの問題として捉え、取り組んで行くことが大切であると考えます。

当社は、平成11年7月1日「コカ・コーラウエストジャパン」として新たなスタートを切り、社会に果たす責任もさらに大きなものとなりました。その中で当社は、「環境好感度No.1企業へ」という基本理念を掲げ、環境保全活動が21世紀に渡って企業の価値を決定する最も大きなテーマでもあるという認識のもと、様々な取り組みを続けています。

この「エコレポート」は、昨年1年間に当社が取り組んだ環境保全活動の実績と、未来へ向けた目標を設定し、ご報告するものです。当社の環境保全に対する姿勢と活動をご理解いただきますとともに、皆さまからのご意見、ご指導を戴ければ幸いに存じます。

代表取締役会長兼CEO

久保 長



代表取締役社長兼COO

菅谷 國雄

環境を通して、
信頼される企業へ。
選ばれる企業へ。



ごあいさつ	2
目次	4
私たちの環境への取り組み	6
クリーンで安全な商品・サービスを提供します。環境保全組織の強化、環境マネジメントシステム	7
省資源・省エネルギーに努めます。省資源・省エネルギーの推進、エコ・ベンダーの導入、エコ・カーの導入	9~10
リサイクルを推進します。リサイクルの推進、ごみゼロ工場づくりの推進、エコ・リカバリーシステムの確立	11
資源の再利用に配慮した、環境にやさしい資材を調達します。グリーン調達	12
地域の環境活動に積極的に取り組みます。ビオトープ浮島設置事業、コカ・コーラクリーンデー、 リサイクルBOXの寄贈、街並の景観に調和した自動販売機の設置、 環境美化活動、環境支援活動	13~16
環境教育による意識の向上に努めます。赤とんぼの街づくり運動、環境調査隊、 コカ・コーラエコロジースクール、 コカ・コーラレンジャートレーニングプログラム、 コカ・コーラ環境教育財団	17~19
コカ・コーラウエストジャパンの将来像。5つの約束で「環境好感度No.1企業へ」	20
ご意見・ご感想、会社概要	21

より良き企業市民としての約束。
責任ある企業市民としての目標。



私たちの基本理念

「環境好感度No.1企業へ」

私たちの行動指針

- クリーンで安全な商品・サービスを提供します。
- 省資源・省エネルギーに努め、リサイクルを推進します。
- 資源の再利用に配慮した、環境にやさしい資材を調達します。
- 地域の環境活動に積極的に取り組みます。
- 環境教育による意識の向上に努めます。



浮島(ビオトープ・アイランド)イメージ図



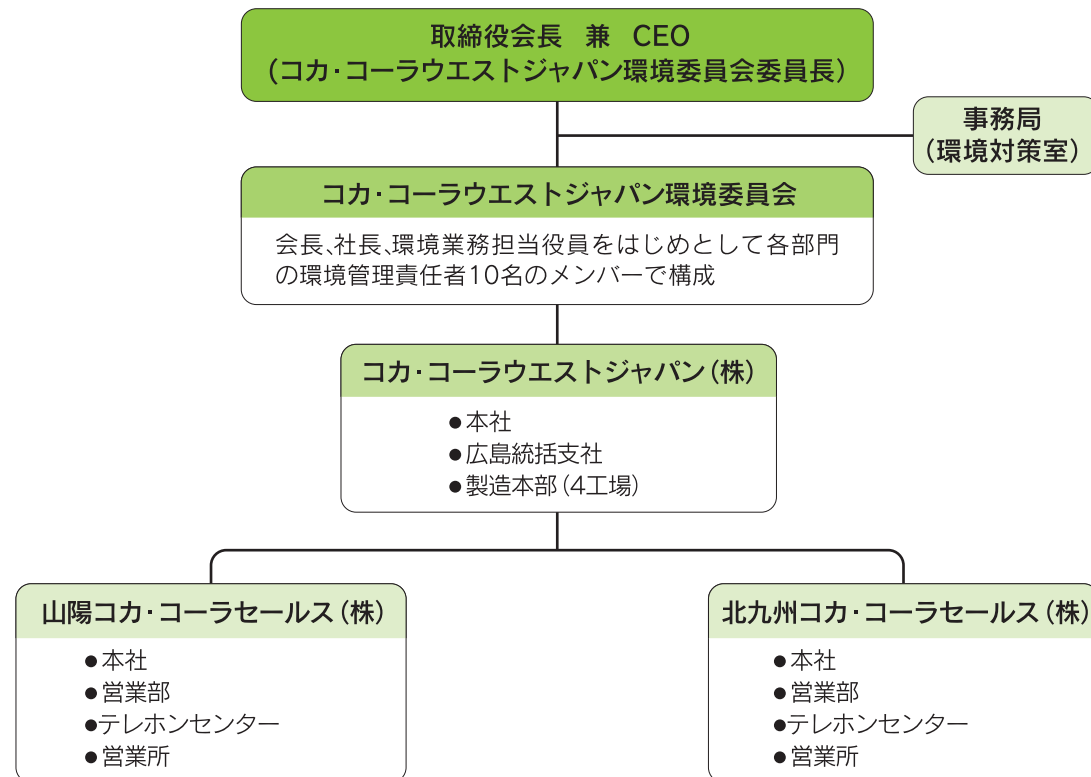
地球環境は、私たち一人ひとりに課せられた大きなテーマです。コカ・コーラウエストジャパンも一企業市民として、人間・社会・自然の調和を常に大切にしながら、環境保全への取り組みを推進していかねばなりません。お客様や地域社会に対する企業責任を深く認識し、全ての事業活動において環境に配慮しながら、積極的に社会貢献活動への取り組みを行っています。



クリーンで安全な商品・サービスを提供します。

環境保全推進組織

当社では環境保全を経営の最重要課題のひとつに掲げています。本社・工場・営業所にいたるまでの全事業所で、環境保全活動を推進しています。



環境マネジメントシステム

全工場でISO14001認証取得

平成11年11月、当社鳥栖工場および基山工場は、環境マネジメントの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。これにより、本郷・広島・鳥栖・基山の全4工場で、品質管理および品質保証の国際規格であるISO9002、ならびに環境マネジメントの国際規格であるISO14001の認証取得を完了しました。また、地球温暖化の原因となる二酸化炭素やオゾン層破壊につながるフロンガスの排出量抑制に取り組むなど、大気汚染防止策をISO14001の重要な環境側面として捉え、より高い品質、より環境に配慮した活動を推進していきます。



●認定審査風景—基山工場(平成11年11月)



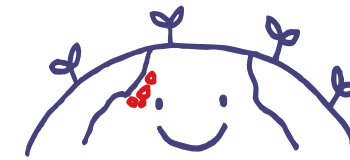
●ISO14001認定証

コカ・コーラ環境マネジメントシステム【TCCEMS】

当社は、全世界をネットワークするザ・コカ・コーラカンパニーが、独自に策定した環境保全を図るためのシステムも取り入れ活動しています。このシステムは、すべての部署、すべての社員の参加を基本とし、環境に関する法令の遵守、環境に対する負荷・排出の最小化、責任の明確化、環境各機関との協力などの要素からなり、継続的にそして改善を図りながら実施しています。



将来への目標 環境マネジメントシステムの完全実施による、環境保全活動推進を約束します。

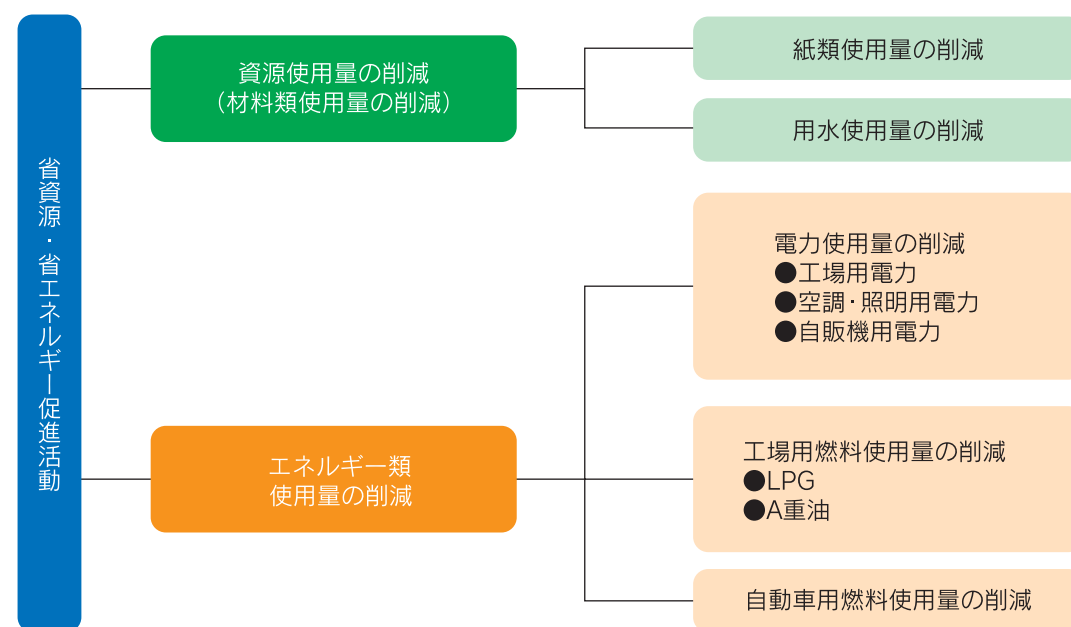


省資源・省エネルギーに努めます。

省資源・省エネルギーの推進

当社は、地球温暖化防止のために、省資源・省エネルギーにも積極的に取り組んでいます。電力・燃料などのエネルギー使用量の低減を図るとともに、大気汚染の元となる二酸化炭素排出量の削減を推進し、水や紙の使用量については、平成14年までに平成9年実績の6.0%削減を目指しています。

●省資源・省エネルギー促進活動



エコ・ベンダーの導入

オゾン層破壊の主な原因とされるフロンは、自動販売機の冷媒として使用されてきました。そこで、廃棄される自動販売機からは、事前にフロンを100%回収するとともに、電池や蛍光灯などもあわせて適正処理を行っています。さらに、夏の昼間の電力使用量を抑制する省エネ型自動販売機の導入を進め、電力需要低減に寄与するとともに、太陽電池や風力発電などの自然エネルギーを利用した将来型自動販売機の準備も進めています。



エコ・カーの導入

車両の排気ガスに含まれる二酸化炭素を削減するため、保有車両のハイブリッド自動車、天然ガス自動車への切り替えを行っています。これは、従来の車両に比べ、排気ガス中の二酸化炭素量を、ハイブリッド自動車では約50%、天然ガス自動車では25%以上削減が可能です。現在、様々な状況により利用が制限されていますが、条件が整い次第、順次切り替えを進めていきます。また、廃棄自動車については、ガソリン、バッテリー、蛍光灯、冷却液などの事前処理を適切に行っています。



●天然ガス自動車

将来への目標 自然エネルギーの導入により、さらなる省資源・省エネルギーを推進します。



リサイクルを推進します。



資源の再利用に配慮した、環境にやさしい資材を調達します。

リサイクルの推進

資源の有効利用は、環境保全を進める上で大きな課題のひとつです。特に、飲料事業における使用済み容器のすべてはリサイクルの対象となりえる大切な資源であり、その回収と再資源化は当社の環境保全活動の重要な部分を占めています。また、資材調達、使用容器についても、リサイクルを前提として配慮し、積極的に資源の有効利用に努めています。

- 廃棄物の再資源化例
- 豆かす・茶かす → 肥料化
 - スチール缶・アルミ缶 → 再生鋼材
 - PETボトル → 再生利用、燃料棒
 - ガラス → 再生カレット
 - 汚泥 → 配合肥料
 - 段ボール → 再生紙
 - 蛍光灯 → 水銀再利用、ガラスは断熱材の原料



4つのごみゼロ工場づくりの推進

当社では、コーヒーや茶の抽出かす、原材料・資材・包材などの生産過程で発生する廃棄物について、分別・減量化の徹底、リサイクルルートの確立を図るなどして再資源化に努め、「ごみゼロ」に積極的に取り組んでいます。その結果、平成12年4月までに、当社の4工場すべてにおいて「ごみゼロ」を達成しました。これからも、すべての部署で社員一人ひとりが環境保全意識を高め、ごみの削減に努めていきます。

ごみゼロの対象品目

スチール缶・アルミ缶	ガラス	廃プラ
紙類	豆かす・茶かす	汚泥

エコ・リサイクルステーションの設置

山陽地区主要事業所内に、使用済みのビンと缶を選別再処理する施設、「エコ・リサイクルステーション」を設置しています。スチール・アルミ缶はインゴットにして製鋼メーカーに納入、ガラスビンはカレットとして飲用ビンに再生しています。



エコ・リカバリーシステムの確立

当社では、リサイクル促進を図るため、空容器回収システムのテスト導入を進めています。現在、テスト地域を設け、サービスマンが専用カーを使ってエコ・ルートと呼ばれるコースをまわり、回収作業を行っています。



●エコ・リカバリーシステム

グリーン調達 (リサイクル製品の利用促進)

当社では、各部署においてリサイクル製品の積極的な使用を進め、特にペットボトルのリサイクル製品の利用に力を入れています。これは環境保全に取り組む企業としての責任の一環であり、循環型社会構築へ向けた当社の役割のひとつと捉えています。



●ユニフォーム

●ノベルティグッズ



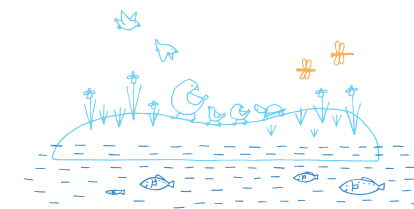
●文房具等



●リサイクル紙

将来への目標 リサイクルを徹底し、ごみゼロを全社で追求します。

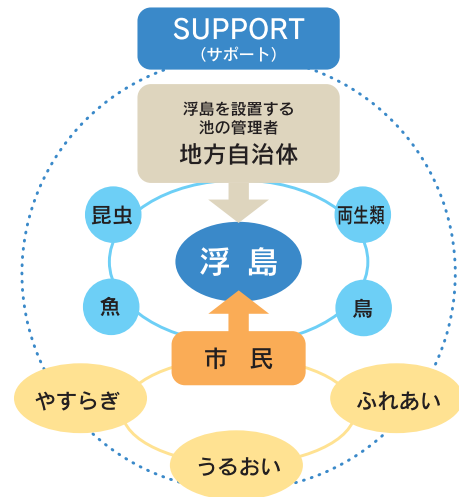
将来への目標 グリーン調達の今後の目標値を設定し、より一層の促進を目指します。



地域の環境活動に積極的に取り組みます。①

ビオトープ浮島設置事業

当社の環境保全活動のシンボルとして力を入れている「ビオトープ浮島設置事業」は、公園内の池や湖などに植物や花を植栽した人工の浮島「ビオトープ・アイランド」を設置して、緑と昆虫や小動物が共生する環境を創出し、新たな景観による市民の憩いの場所を提供するものです。現在、北九州市、甘木市、久留米市、宗像市に寄贈し、これからもさらに活動を進めていきます。



●北九州市小倉南区「文化記念公園内日本庭園の池」



●宗像市大字自由ヶ丘
「自由ヶ丘中央公園内白水池」



●久留米市諏訪野町
「諏訪野町公園内堂女木池」



●甘木市大字菩提寺地内
「甘木公園池」





地域の環境活動に積極的に取り組みます。②

コカ・コーラクリーンデー



社員一人ひとりの環境問題に対する自己啓発や、地域社会への環境保全活動を、毎月8日に全事業所で実施しています。



リサイクルBOX寄贈



福岡国際空港をはじめ、地域のさまざまな場所にリサイクルBOXを寄贈しています。これからも、当社は社会のあらゆる場面で、環境保全につながる環境機材の贈呈を行っていきます。

街並の景観に調和した自動販売機の設置



街並にとけこむ景観対応型の自動販売機を設置し、地域環境との調和をめざしています。

環境美化活動

●アダプトプログラム

アダプトプログラムは、空き缶が散乱しやすい場所を選び、ボランティアとなる市民と自治体、企業が協力しあって美化活動を行うというものです。当社は、福岡市中央区舞鶴校区を中心とした地域の活動を支援しています。



●ラブアースクリーンアップ活動

ラブアースクリーンアップ活動は、環境庁が後援して行っている環境美化活動です。平成12年6月11日に行われた福岡市大濠公園での空き缶拾いに社員250人が参加し、あわせて資金面での支援も行いました。



環境活動支援

関門スナメリの会



関門スナメリの会はスナメリを通して「海洋環境の保全」に関わる様々な活動を行っています。当社は、関門スナメリの会が行う海岸の清掃活動などを積極的に支援しています。



ながさきホテルの会



当社は、ホテルの生息環境保全のために活動しているながさきホテルの会が行う河川の清掃や幼虫の放流など、毎年ホテルの美しい光を見るための活動の支援も積極的に行っています。



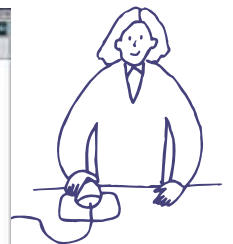
広島フラワーフェスティバルへ参加



毎年5月に広島で開かれるフラワーフェスティバルに参加して、当社の環境保全への取り組みをわかりやすいパネルにして展示。来場者へも保全活動の大切さを呼びかけることで、意識向上を図っています。

環境インターネットホームページ

当社の環境保全の取り組みをできるだけ多くの方々に知っていただくために、インターネットで環境ホームページを開設しています。今後とも、情報開示を積極的に行い環境保全に力を入れていきます。



コカ・コーラウエストジャパンホームページ <http://www.ccwj.co.jp/>

将来への目標 環境美化に加えて、生態系を視野に入れた地域環境の創造に努めます。

赤とんぼの街づくり運動



●長崎・めがね橋での写生風景



景観保全とリサイクルをテーマに、自治体や地元のメディアと協力して行う、1999年からはじまった新しいエコロジー運動です。赤とんぼをイメージキャラクターに、子供たちの写生大会などを通してあらためて自分たちの街を知ってもらい、日常的に環境問題への意識を高めていくことを目的に活動の輪を広げています。



●エコーはがきの発売

環境調査隊

当社は、地域の小学生を対象とした「すすめ!エコロジー調査隊」事業にも協賛しています。これは、子供たちに身近な自然環境の観察機会を提供し、自然の営みや自然とのかかわりを通して、環境保全意識の向上を図るとともに、家族や友人との共同調査によるふれあいの機会を創出するものです。



環境教育による意識の向上に努めます。①



コカ・コーラエコロジースクール



自然環境教育専門家(レンジャー)の指導のもと、身近にある自然を知り、自然と共生する楽しさを体験する中で、自然を大切にする心を育み、学ぶ、実践的なプログラムです。この活動を通して、地域社会の環境保全に貢献すると共に、人々との交流を図り、常に地域社会と一緒に歩む当社へのより深い理解を得ることを目的としています。

コカ・コーラ レンジャートレーニングプログラム

「コカ・コーラエコロジースクール」を実践していくうえで必要な環境教育活動の指導者・エコロジースクールリーダーの育成を目的としたプログラムです。それぞれの地域に根づいた自然環境の指導者が新たに育成されることにより、環境活動がさらに地域社会に広がっていくことを願っています。



コカ・コーラ環境教育財団

コカ・コーラグループの企業市民として地域に貢献するという企業理念を、環境教育・環境保全の分野で実践することを目的に、1994年に設立されました。環境関連分野に関わる人々への啓発、支援活動の他、コカ・コーラ環境教育賞を創設し、環境教育・保全に携わる個人や団体の表彰や環境教育の助成にあたりています。



環境教育による意識の向上に努めます。②

社員環境教育

環境問題への取り組みは、社員一人ひとりの問題でもあります。当社では、社員すべての環境保全意識や正しい理解の向上を図るため、環境教育や啓発活動、環境セミナーを実施し、活発な活動を展開しています。



環境大賞



全社員の環境保全意識の向上を図ることを目的に、社内キャンペーンとして、環境問題に関するポスター・標語を募集する「環境大賞」を実施しています。

社内報環境ページ啓発



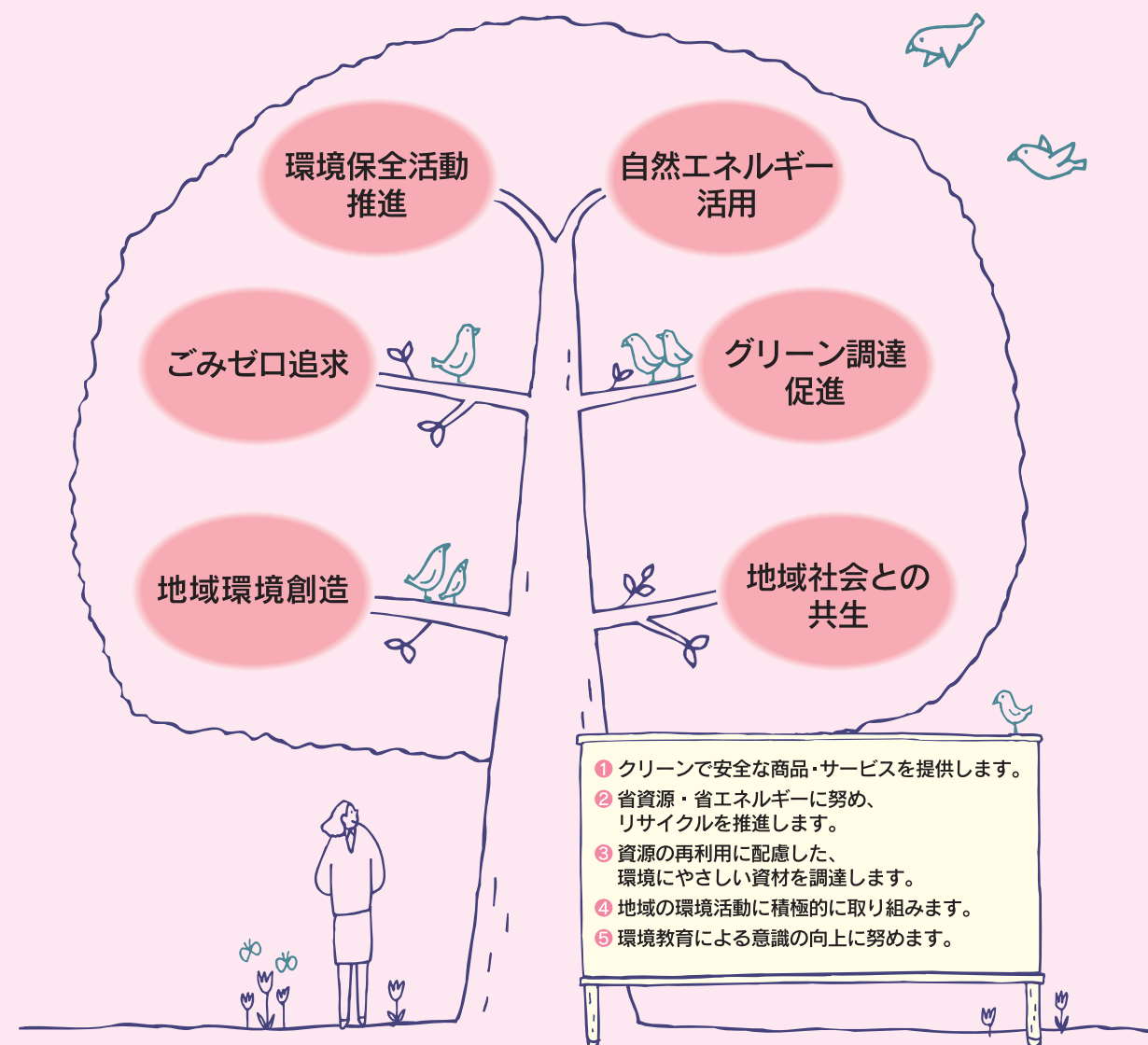
社内報に環境問題のページを設けたり、社内ネットに環境掲示板を開設するなど、随時環境への意識の高揚を図っています。



将来への目標

次世代を担う子供たちを主役として、地域社会と社員が一体となった環境教育を目指します。

コカ・コーラウエストジャパンの将来像
5つの約束で、「環境好感度No.1企業へ」



私たちが発展し続ける限り、
環境への取り組みも
前進し続けます。



ご意見・ご感想をお聞かせください。

この「エコレポート2000」は、コカ・コーラウエストジャパンの事業活動における環境保全への取り組みの現状を、皆さまにお知らせするためにまとめたものです。まだ課題も多く内容的にも十分とはいえない点もあり、「エコレポート2000」をお読みいただいた皆さまからご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。お寄せいただいたご意見は、今後の「エコレポート」作成の参考にさせていただきます。

ご意見・ご感想は、下記の環境対策室までお聞かせください。

2000年8月

コカ・コーラウエストジャパン株式会社
環境対策室「エコレポート」事務局
〒812-8650
福岡市東区箱崎七丁目9番66号
TEL (092) 641-9118
FAX (092) 641-9153

コカ・コーラウエストジャパンホームページ
<http://www.cewj.co.jp/>

会社概要 (平成12年6月30日現在)

商号：コカ・コーラウエストジャパン株式会社
本社所在地：福岡市東区箱崎七丁目9番66号
設立：昭和35年12月20日
資本金：152億3千万円
従業員数：700名
主な事業内容：コカ・コーラ、スプライト、ファンタ
及びジョージアなど飲料の製造・販売
工場：本郷工場 広島工場 鳥栖工場 基山工場



コカ・コーラウエストジャパンは
美しい町・美しいふるさとづくりをめざしています。



コカ・コーラウエストジャパン株式会社
Coca-Cola West Japan Company, Limited



このエコレポートは、再生紙を使用しています。